

大磯学区推進協のふれあいネットワーク(地域支えあいマップ)研修会

このコーナーでは、各学区の推進協事業を紹介します。今回は、大磯学区推進協のふれあいネットワーク活動の研修会をご紹介します!

大磯学区では、毎年ふれあいネットワーク活動の研修会を行っています。今年は、地域支えあいマップの作成を行いました。当日は町内会長さん、民生委員さん、サポーターさん(ご近所で見守りに協力して下さる方)、約50名の方の参加がありました。

ふれあいネットワーク活動とは

地域住民が、お互いに見守り、助け合い、安心して地域で暮らし続けられるようにするためのつながりづくり、支え合いのための活動。

ふれあいネットワーク活動を中心的に行う民生委員さんから、今までの見守りの事例や現状の報告、大磯消防団の団長さんから見守りにつながる防災の取り組みの報告がありました。とくに日常の見守りがいざという時の助け合いにつながるという話は、みなさん納得されていました。



大磯消防団団長の話

地域支えあいマップとは

地図上にある、その地域で何らかの支援が必要な人(要援護者)の住んでいる所と主な福祉関係者等(町内会長や民生委員、福祉施設など)に印をつけ、要援護者と近隣住民がどのように関わりあっているかを線(矢印)で記したものです。

町内ごとのグループにわかれ、地域支えあいマップを作成しました。グループで話し合い、地図に見守りが必要だと思う人、その人を見守る人、その関係性を地図に落とし込みました。



支えあいマップ作成の様子。
みなさん熱心に話し合われています。

大磯学区では民生委員さんだけでなく町内会長さん、サポーターさんとしっかり連携しており、推進協として取り組んでいました。さらなる大磯学区のふれあいネットワーク活動に注目ですね。

地域福祉推進協議会(推進協)とは? 住民が安心して暮らせる福祉のまちづくりを目的に、学区区政協力委員(町内会長)、民生委員児童委員、その他各種団体が協力して、小学校区を単位に設立されている団体。

南区発! みんなの優しさや想いを大切にする

「コミュニティ食堂マルチャンゴー」オープンしました♪

みなさん、「子ども食堂」という言葉を聞いたことはありますか?

全国で300か所以上あり、立ち上げられた方は「こどもが一人でも安心して来られる無料または低額の食堂」という想いを込められたそうです。

あたたかい食事を通して、みんなが交流する場所になってほしい・立ち寄ったみんなの居場所になってほしいという願いを込めて、現在も多くの食堂がオープンしています。

南区では昨年9月に白水学区で、「コミュニティ食堂マルチャンゴー」ができ、どんな人にも来てほしいという想いからオープンしました。



- 開催日:月曜日～金曜日 ●時間:18:00～21:00
- 料金:子どもなど200円、大人500円
- おすすめメニュー:心の込められた材料で作る日替わり定食・100円スイーツ(手作りクッキーがオススメ)
- 土曜日の午前中には、畑作業もしています♪
みんなで楽しく野菜作りませんか?
- 連絡先:コミュニティ食堂 マルチャンゴー ☎611-2836



ここバリ通信

～“心のバリアフリーを広げる拠点”～
「ここバリすぽっと」を広げるため、
計画サポーターさんが訪問活動をしました



第14回 今回は新しくここバリすぽっととして登録いただいたところをご紹介します。

ミライプロジェクト新瑞橋

南区平子1-2-3 TEL:883-8012

地域の方が集まることのできるデイサービス

ミライプロジェクトは28年9月よりデイサービスセンターとして開所しました。施設の名前のとおり、建物は近未来的でおしゃれな外観です。1階は広いワンフロアになっていて利用者さんが食事・機能訓練・入浴等をして過ごせるようになっています。2階はスタジオや多目的室、キッズルームがあり、ここではお昼からレクリエーションをする際やくつろいだり、麻雀や将棋をしたい時に使用するお部屋として開放しているそうです。また、2階のベランダでは家庭菜園をしており、季節の野菜が収穫できます。

施設長の牧野さんが運動指導を専門にしてみえたこともあり、将来的には地域住民の方が参加できる健康プログラム等も行っていきたいとおっしゃっていました。また、名古屋大学レゴ部の学生さんと連携して、利用者さんにレゴを体験してもらったり、地域の子どもたちに開放しているそうです。今後もここバリすぽっととして地域の方に優しい施設として憩いの場になっていくといいですね。



施設長と職員さん



玄関先の休憩スポット



機能訓練室

コーヒーハウスモーニン

南区中割町4-79 TEL:612-0422

地域の方が気軽に集える店・トイレお貸しします

コーヒーハウスモーニンは創業31年の老舗です。ご主人が地元でお店を営みたいとの思いから始められたとのこと。コーヒー一杯300円という良心的な価格で歳末には“お歳暮セール”と称して地域の皆さんに日頃の感謝の気持ちを込めて、チケットを購入すると商品券が当たったり、アイスクリーム券等が当たったりするイベントを行ってみえるとのことです。取材した当日も常連のお客さんが気さくにお店の様子を撮影させていただきました。これからもここバリすぽっととして、ますます地域の皆さんに気軽に立ち寄りいただける集いの場になっていくといいですね。



ゆったりとした雰囲気

